2013年7月26日

第13回日本間質性膀胱炎研究会　開催通知

日本間質性膀胱炎研究会会員 各位

下記の要領で、第13回日本間質性膀胱炎研究会を開催します。

|  |
| --- |
| 期日：2014年1月19日　午後1時から5時（予定）  場所：東京ステーションコンファレンス（東京駅隣接） |

従来は、日本排尿機能学会などと期日を合せて開催していましたが、今後は別の日程としました。また、一般演題以外にワークショップを設け、今回はハンナ病変に関して深く掘り下げる企画としました。

一般演題の公募要領は別紙をご覧ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

当番世話人：本間之夫（東京大学）

お問い合わせ

113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部附属病院泌尿器科

日本間質性膀胱炎研究会事務局（担当：山田幸央）

TEL：03-5800-8753　FAX：03-5800-8917

sicj-office@umin.ac.jp

【一般演題募集要項】

・以下の要領で一般演題を募集します

・演題申し込み方法は、電子メール（宛先：sicj-office@umin.ac.jp）のみです。

・メールタイトルは、「第13回SICJ 演題応募」としてください。

・申し込みの抄録には、演者氏名、所属機関、演題名、抄録本文、連絡先氏名、メールアドレスを記載してください（例を文末に付けます）。

・抄録本文の文字数は800 字以下とします。

・本文は、背景・目的、方法、結果、結論の順に記載してください。

・特殊文字の使用は避けてください。

・Word 形式のファイルを添付し、本文にもコピー＆ペーストしてください。

・応募締め切りは10月31日（必着）とします。

・演題数により、ポスター発表になる可能性もあります。

【抄録記載例】

東大太郎1、・・・、東大次郎2、東大三郎1

東京大学泌尿器科1、東京大学病理科2

難治性間質性膀胱炎に対する外科治療の検討

【目的】間質性膀胱炎難治症例に対して外科治療を行った・・・

【方法】当科で診療した間質性膀胱炎患者のうち、・・・

【結果】回腸導管造設術を行った2例は術後・・・

【結論】外科治療は難治性間質性膀胱炎の治療選択肢の一つであるが・・

連絡先氏名：東大太郎

メールアドレス：icicic@umin.ac.jp